

## 報告書抄録

ふりがな	はりしじょういせき いどいせきその1・2							
書名	針氏城遺跡 井戸遺跡その1・2							
副書名								
巻次								
シリーズ名	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	38-2							
編著者名	阿刀弘史、瀬口眞司、重田勉、大崎康文							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 077-528-4647			〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732番2号 077-548-9780				
	発行年月日 平成23年（2011年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
はりしじょういせき 針氏城遺跡	こなんしはり 湖南市針	25362	041	345960	1360430	20080128 ↓ 20081215	3,657m <sup>2</sup>	県営経営体育成 基盤整備事業
いどいせき 井戸遺跡			045	350013	1360522	20091105 ↓ 20091111		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
針氏城遺跡	集落	縄文時代 古墳時代 奈良時代 平安時代	土坑、落ち込み ピット、溝 溝、ピット 溝、ピット	縄文土器・石器 土師器・須恵器 土師器・須恵器・緑釉陶器 土師器・須恵器・灰釉陶器		中期・後期・晩期		
井戸遺跡	集落	その他				縄文土器・土師器・ 須恵器・瓦質土器・ 陶器が出土		
要約	<p>針氏城遺跡では、縄文時代から中世に至るまでの遺物が出土した。主には縄文時代の遺構と室町時代の遺構を検出した。遺物では、縄文時代後期後葉から晩期前葉の、宮滝式～滋賀里Ⅱ式の土器がまとまって出土したこと、「生駒西麓産」とされる胎土を持つ土器が数点出土したこと、サヌカイト製の石器とともにチップが多数出土したこと、水晶製の石器が出土したことなどが注目される。滋賀里Ⅱ式の土器は、従来滋賀県内において出土例が少なかったものである。「生駒西麓産」とされる胎土を持つ土器とサヌカイトチップの存在は、針氏城遺跡の縄文人が生駒西麓・二上山周辺地域と交流していたこと、針氏城遺跡で石器を製作していたことを示す。</p> <p>井戸遺跡の調査では、当調査地が井戸遺跡の縁辺部にあたることが確認できた。遺跡の中心はおそらく現在の甲西高校付近に展開すると考えられる。</p>							